

(8枚)

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 5月19日 (第304報)
発信時刻 9時40分

経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏
連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力発電所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作1 2	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 二 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要 発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない)
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	被ばく者の状況 ■無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有:
	気象情報 (確認時刻 9時00分)	・天候 : 晴れ ・風向 : 方位 南東 ※ ・風速 : m/s 2.1 ※ ・大気安定度 : B (10m)
	周辺環境への影響	□無 □有: 調査中
	応急措置	

※風速が0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (5/9日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (5/9日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm ² g・MPa[gage]) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	23.6℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5600 mm ^{SFC} (異常域) 燃料頂部から 9796 mm →
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 受電有 <input type="checkbox"/> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 <input type="checkbox"/> 無
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常
ECCS の作動・高圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
ECCS の作動・低圧系	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入 <input type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加 <input type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 <input type="checkbox"/> 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 <input type="checkbox"/> 非隔離
格納容器圧力 ↘	4.4 (kg/cm ² g・kPa[gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (5/9日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (5/9日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm ² MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	23.2℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5650 mm (SIC) 燃料頂部から 9846 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
BCCSの作動・高圧系	作動 (未作動)
BCCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	4.2 (kg/cm ² kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 23℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (5/9日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (5/9日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.00 (kg/cm ² g MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↘	32.5℃ 給水 温度 RHR (B) 入口温度
原子炉水位 →	2200 mm (燃料) 燃料頂部から 6396 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の開止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 ↘	8.64 (kg/cm ² g kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 26℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (5/9日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (5/9日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.07 (kg/cm ² g MPa [gage]) 上昇・下降 (安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) →	26.3℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	4550 mm (燃料格納) 燃料頂部から 8746 mm →
外部電源	(受電有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (無)
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
BCCSの作動・高圧系	作動 (未作動)
BCCSの作動・低圧系	作動 (未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入) 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉) 開
格納容器の隔離状態	(隔離) 非隔離
格納容器圧力 →	5 (kg/cm ² g kPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27℃ → RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が出たものから記入し、迅速に連絡することとする。

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日 9時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm ³) ヨウ素(Bq/cm ³) 総量(Bq/cm ³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(19日 9時 00分)			
	方位 日 時 分	方位 日 時 分	方位 日 時 分	方位 日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
 ※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (19日 8時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.7 cps, 2号機: 3.7 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.6 cps, 4号機: 4.9 cps
	Rw/B: 2.2 cps

固定式モニタリング設備地点								
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7 #
	8時 10分	1.8 μSv/h	1.4 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h	- μSv/h
	8時 20分	1.8 μSv/h	1.4 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h	- μSv/h
	8時 30分	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点								
γ線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名							
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
	時 分	μSv/h		μSv/h		μSv/h		μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名							
	時 分	Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³		Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名							
項目	時 分							
	時 分							
	時 分							
	時 分							

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (19日 9時 00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.7 cps、2号機: 3.8 cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.5 cps、4号機: 4.8 cps
	Rw/B: 2.1 cps

	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	γ線空間線量率	8時40分	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h
8時50分		1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h	-
9時00分		1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.9 μSv/h	1.6 μSv/h	1.7 μSv/h	1.6 μSv/h	1.1 μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

項目	設備地点名				
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。

18=90 受

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年5月19日 (第305報)

発信時刻 17時45分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏

連絡先 0240-25-4111(代) ()

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作1 2.	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第一号炉	
特定事象の発生時刻		平成23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分	
要発生した特定事象の概	特定事象の種類	敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (□する, ■しない)	
	想定される原因	■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 □無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有:	
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 : _____ ・風向 : 方位 _____ ・風速 : m/s _____ ・大気安定度 : _____ (10m)	
	周辺環境への影響	□無 □有:	
	応急措置	5月19日 16時30分頃、3号機海水熱交換器建屋において海水配管の点検をしていた作業員1名が作業場所から事務所へあがってきた後、体調不良(左足全体と右腕の一部がつつた)を訴えたため、当所の産業医が診察を行った。 診断後、念のため点滴治療を行いながら、Jビレッジへ17時27分に搬送しました。 なお、放射性物質による汚染はありません。	